

業界をリードし続ける ズバ暖の歩み

三菱電機の燃焼系暖房からの撤退が間近に迫り、静岡製作所では前例のない寒冷地向けエアコンへの

外気温-25℃での使用を可能にした、 「フラッシュインジェクション回路」

の挑戦が始まりました。そしてお客様の声に真摯に耳を傾け、設計・品質・営業が一丸となって課題に取り組む、数々の苦難の末に「ズバ暖スリム」が誕生しました。外気温が-25℃にも達する極寒地や豪雪地帯でも機能する、燃焼系暖房に代わる新しい「暖房機」となりました。

「ズバ暖」の可能性 を見出した「キタ キツネ大作戦」

非冷媒式熱インバーター機の暖房性能を、北海道に浸透させることを目的として展開された「キタキツネ大作戦」。実測データに基づき、「-15℃以下での運転」・「吹出温度45℃以上」・「素早い立ち上がり」の3点に訴求のポイントを絞り、短期間のチラシの制作と投入で大きな成功を収めました。この成功が、エアコンのさらなる暖房ニーズを引き出すことになり、「ズバ暖」シリーズ開発の道標となりました。



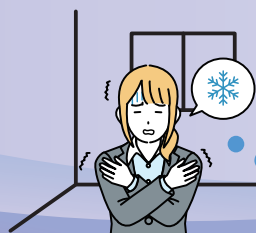
寒さの厳しい北海道ではヒートポンプエアコンによる暖房は不向きと考えられていました。しかし「ミスタースリム」は果敢に挑戦し、「フラッシュインジェクション回路」と数々の試験の末、ついに商品化を実現しました。「ズバ暖スリム」と名付けられたこのモデルは、低外気温に液冷媒をリニア膨張弁で最適分配し、Heat Inter Change カイロで熱交換を行うことで、燃焼バーナー不要の高い暖房能力を実現し、さらに幅広い地域での運用が可能になりました。

寒さの厳しい 北海道旭川市で、 高い能力を実証

業界初の「ズバっとデフロスト方式」で霜取時間を短縮。無駄な霜取をせずに暖房時間を延長することで、快適性が向上しました。外気温が0℃付近でも、最大約150分の連続運転が可能になりました。

おかげさまで、ズバ暖スリムは20周年を迎えました

四国 のみなさま！ 冬場の暖房にお悩みありませんか？



都市名

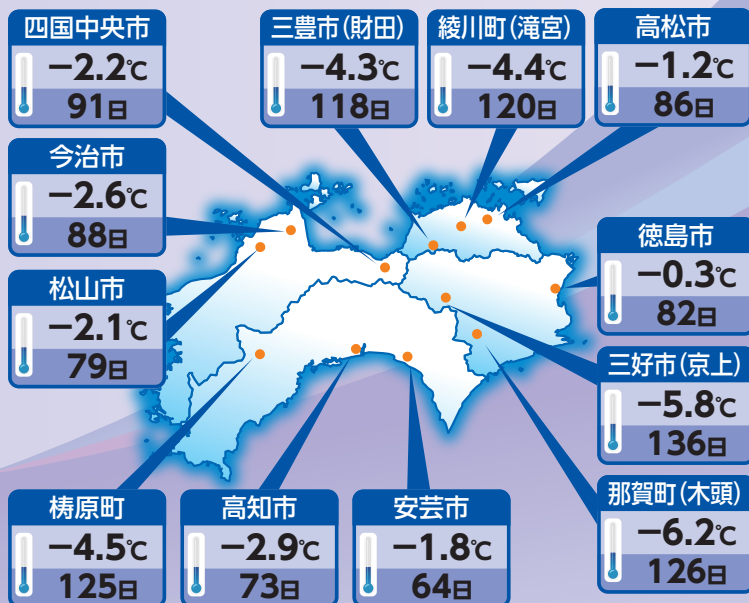
最低気温

最低気温-7℃～-5.5度の日数
(霜が付きやすい温度帯)

外気温が0℃を下回ると、
暖房の効きが悪くなる…

2024年1月1日～2024年12月31日

出典：気象庁ホームページ「過去の気象データ検索」(<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>)。掲載されている気象データは2025年10月現在のものです。過去にさかのぼって修正される場合があります。



外気温0℃以下でも暖房能力をキープ※1できる **ズバ暖スリム** がおすすめ！

※1：着霜を考慮しない場合の能力(ピーク時)。暖房最大低温能力が定格暖房能力より低い一部機種は、暖房最大低温能力を維持します。

寒い冬もしっかりあたためる



なら 四国 でも一年中快適に！

ズバ暖スリムは、誕生から20年の間でAPFと暖房低温能力の向上に成功。
極寒地や豪雪地帯でも機能する、燃焼系暖房に代わる新しい「暖房機」として、業界をリードし続けています。



2005



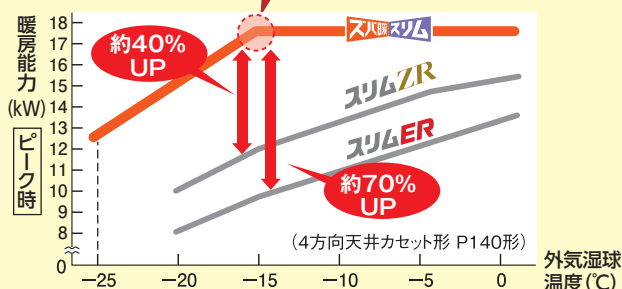
*2005年機種 (MPLZ-HRP80BED)・2015年機種 (PLZ-HRP80EH)・新型機PLZ-DHRMP80H5の比較。



2025

1. 高暖房能力であたたかい！〈DHシリーズ/Hシリーズ〉

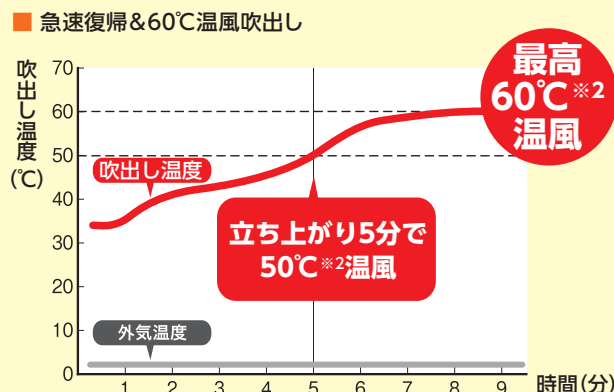
外気温-15℃まで暖房能力を維持！



標準モデル（スリムZR/ER）と比較し、圧倒的な暖房能力を発揮。
外気温-25℃まで暖房運転に対応し、外気温-15℃まで能力をキープするため、寒冷地の冷え込む冬にぴったりです！

*ズバ暖スリム PLZ-HRMP140HF5、スリムZR PLZ-ZRMP140HF5、スリムER PLZ-ERMP140HF5 における比較。

最高60℃の高温風でスピーディーな立ち上がり！



※2:室温10℃（乾球）・外気温2℃（乾球）/1℃（湿球）、PLZ-HRMP160HF5、風速:強にて。暖房10℃設定で終夜運転し、暖房24℃に設定温度を変更した場合（当社試験室による結果）。

安心の
暖房性能

外気温 **-25℃**
まで暖房運転可能

外気温 **-15℃**
まで定格暖房能力キープ

最高 **60℃**※2
高温風

2. 霜取り中でも、あたたかさが途切れない 極モデル〈DHシリーズ〉

業界初※3、外気温-10℃まで霜取り中でも吹出し温度約45℃をキープ※4するため、あたたかさが途切れません※5。

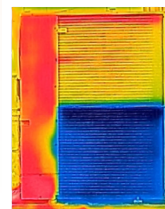
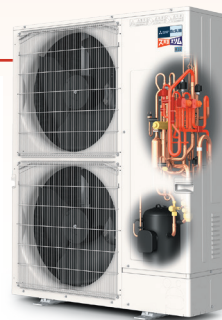
寒冷地の皆様に、さらなる快適なあたたかさをお届けします。

※3: 2022年1月31日発表、当社調べ。寒冷地向け店舗・事務所用パッケージエアコンにおいて、室外熱交換器を二分し、暖房と凝縮潜熱を用いた霜取りを同時に行う技術。

※4: 室内23℃（乾球）、外気温2℃（乾球）/1℃（湿球）、PLZ-DHRMP140HF5、風速:自動、設定温度:24℃（当社試験室による結果）。ただし室温や外気温が低い時、または外気温が高く着霜量が多い時など使用環境によっては、吹出し温度45℃にならない場合があります。

※5: 24時間連続して暖房運転が出来ることを確認。機種選定が適切でない場合や開放空間などで使用した際に、通常の霜取りに入る場合があります。

熱交換器を上下に分け、半分は霜取りをしなが、残り半分で暖房運転を続けます。



三菱電機株式会社

冷熱システム製作所（静岡）〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1

■スリムエアコンのお求め、ご相談は当店へ。